

協働の森パートナーズ協定

交流活動イベントのレポート

人が森を助ける。
森が人を助ける。



「環境先進企業との協働の森パートナーズ協定」については、
高知県林業振興・環境部林業環境政策課のHPをご覧ください
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030101/kyoudounomori.html>

協定企業：株式会社四国舞台テレビ照明様

開催場所：室戸市立羽根中学校、日南・大平集落活動センター「ひなたぼっこ」

開催日：令和6年1月17日（水）

参加者数：42名

（株式会社四国舞台テレビ照明、室戸市立羽根中学校、株式会社ヘミセルローズ
日南・大平集落活動センターひなたぼっこ、室戸市、高知県）



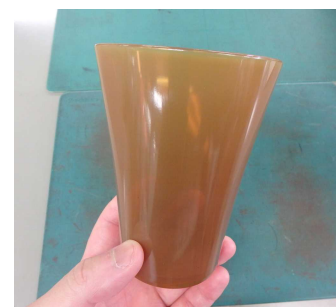
令和6年1月17日（水）、株式会社四国舞台テレビ照明様、株式会社ヘミセルローズ様、室戸市立羽根中学校、日南・大平集落活動センター「ひなたぼっこ」、室戸市、高知県による交流活動が行われました。

今回は、株式会社ヘミセルローズ代表取締役社長の茄子川様から、ヘミセルローズとバイオプラスチックについて講義をしていただきました。ヘミセルローズとは、植物や樹木等の細胞壁に含まれる成分で、この成分を活用し化石燃料由来でないバイオプラスチックを作ることができるそうです。

四国舞台テレビ照明様がこの取り組みに着目し、協働の森の協定森林から出た間伐材を利用して、バイオプラスチック製品を作れないかという話を進めるなかで、今回、協定先である室戸市にある羽根中学校の生徒と四国舞台テレビ照明社員の皆様へ講義をしていただく機会が設けられました。



ヘミセルローズは、木材以外からも抽出することができ、チョコレートを作る過程で発生したカカオ粕からチョコレートの内包装を作ったり、ビール工場が出た仕込殻からビールジョッキを作ったりする等、生産活動の過程で発生したゴミを資源として活用し、循環させることができるということです。参加者からは、室戸市は漁業が盛んな地域であることから、貝殻や魚の骨等も活用できないかという質問が出ていました。



記念品として、室戸市の間伐材から作られたコップが参加者にプレゼントされました。

<交流会の様子>

講義を終えた後は、日南・大平集落活動センター「ひなたぼっこ」にて、昼食会が開かれ、地元の食材を使った料理に舌鼓を打ちました。日南・大平地区の特産品は、ぼたなす、田芋、シキミ等が挙げられますが、今回は季節柄、田芋を使った料理が並んでいました。



田芋の煮っころがしや豚汁の他、親芋を使ったチップスもご用意いただきました。チップスが大変人気で、持ち帰る方も多くいらっしゃいました。

昼食後は、集落活動センター運営協議会の皆様から、日南・大平集落活動センター「ひなたぼっこ」の活動についてお話いただきました。高齢化と人口減少が進むなかで地域の特産品を活かした活動に取り組んでいきたいとのことで、昼食でいただいた親芋のチップスを本格的に商品化して販売していく計画もあるそうです。



高齢化や人口減が進む一方、他県から移住して来られた方々が集落支援員として活動する等、地域を支えるメンバーになっているようです。

協働の森づくり事業のご縁から、これからも企業と地域との交流が益々進んでいくことを期待しております。今後ともよろしくお願ひします。



人が森を助ける。
森が人を助ける。

協働の森
木の力
Collaborative Forest Restoration with
Environmentally Progressive Companies.